

平成 28 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 報告書

1. 日 時 : 平成 28 年 8 月 3 日 (木) 15 時 00 分 ~ 16 時 00 分

2. 場 所 : 日本福祉教育専門学校 高田校舎 221 教室

3. 出席者 : 委員 金川 宗正 (社会福祉法人敬心福社会池袋敬心苑 施設長)  
委員 松山 慎司 (社会福祉法人西東京市社会福祉協議会 専門員)  
委員 渡辺 祐介 (公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会)  
事務局 宮田 雅之 (事務局長)  
事務局 寺澤 美彦 (教務副部長)  
事務局 積田 修真 (教務課)  
事務局 板野 弘明 (教務課)

4. 議事

1) 自己紹介 (全員)

2) 委員からの意見に対する回答

委員より提出された事前確認シートの質問・意見・確認事項等に対し、学校からの回答を配布した。さらに、以下 4 点を抜粋し口頭で説明を行った。

① 27 年度の合格率、就職率、退学率について (宮田)

【学校回答】

資格取得状況、就職状況、退学状況、在籍状況について口頭にて説明を行った。

(各資格試験の課題水準が上がる中、高い資格取得率であった。就職率も高い。)

② 中途退学率削減の取り組みについて (宮田)

【学校回答】

目標を学園全体で 5% 以内と定めているが、昨年度が全体で 8.9%、今年度が卒業生 7.7% と、退学率を抑えることはできたが目標値までは届かなかった。それを受けて学生相談課を 4 月から発足。担任の教員以外にも相談ができる環境を整え、学生の相談に乗っている

③ 自己評価報告書 1-1-2 における課題の改善状況について (寺澤)

- ・自己研鑽システムを採用し、学会出席補助金や研究紀要の発行で自己研鑽を行う。
- ・ホスピタリティ向上のため、ユニバーサルマナー検定 3 級の全教職員取得を検討中。
- ・アクティブラーニング研修を開催するなど、教材はもとより教員の質向上を目指して取り組んでいる。
- ・敬心学園全体の学術研究会を 6 月に開催。本校が主催校となり、卒業生、施設・団体が参加。

【学校回答】

④ 敬心学園における「評議員会」の役割、定員等について (宮田)

【学校回答】

評議委員会は 23 名で。文部科学省の指針を準拠している。

理事会が意思決定機関に対し、評議委員会は諮問機関であり、重要事項に関しては、予算、借入金、事業計画、寄付行為、合併等の重要事項に関しては評議委員会で諮問する。

### 3) 意見交換

委員より提出された事前確認シートを基に報告を行った。

#### ①留学生への対応について

Q. 国家試験は外国籍対応があるのか

A. 問題文のルビ振りはあるが、時間の延長は認められない。(宮田)

・在学ビザが取れない、一人暮らしの学生の近所トラブル（新聞の勧誘、不審者）、困窮などの相談を受けることも有り、日本での生活による不安を少しでも取り除けるように一丸となってサポートしている。それぞれの問題の根底には、日本語能力の不足によるものが多く散見され、留学生に日本語を教える機会がもっとあっても良いという意見もある。前期毎週火曜日には、提携している日本語学校の先生をお招きし、2時間の授業を行う。また、介護福祉学科の取り組みとして、毎週土曜日9時～12時まで専任教員による留学生を対象とした授業を行う。後期は卒業生による日本語指導ボランティアを募集し、より日本語能力をカバーできる環境を整えていきたいと考えている。(積田・宮田)

#### ②学生相談について

Q. 学生相談の担当者は固定なのか(金川)

教員の菊地と( )が担当しているが、相談内容によっては各教科の担当講師や事務局が対応することもある。(宮田)

#### ③認知症カフェ (MeMo カフェについて)

Memo プロジェクトは、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、啓蒙活動の3点を中心に活動している。この度豊島区より認定を受け、少しずつではあるが、学校をあげて地域に根付いた活動を行っている。

### 5. おわりに

委員の意見を基に、今後も学校運営に対して改善を図っていきたい。今年度第2回の委員会は、年内の開催を予定している。

以上